

＜第47回兵庫県障害者技能競技大会＞

アビリンピック兵庫2026

製品パッキング競技 課題

1. 課題

競技課題 1 緩衝材の組立・結束 【15セット(3束)／20分】

競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包 【3梱包(3箱)／50分】

※ 競技課題1の緩衝材(完成品)は、競技課題2で使用する。

※競技課題2の中箱・化粧箱身・化粧箱蓋はカットのみの材料となること。

2. 禁止事項

- (1) 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- (2) 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- (3) 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- (4) 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- (5) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- (6) 原則として、8及び9に示すもの以外の機器を使用してはならない。
- (7) 競技中に、材料、用具類の貸し借りを行ってはならない。
- (8) その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはならない。

3. 実施内容及び実施手順

(1) 競技課題ごとに競技の説明を行い、その後競技を始める。

(2) 各競技は、詳細説明図のとおり。

※ 詳細説明図は折り方の一例であり、ほかの折り方や手順でも品質に悪影響が出る方法でなければ審査減点対象にはならない。

(3) 競技部材準備では、各部材の数量確認と各部材のレイアウトを決めること。

4. 注意点

(1) 競技の際は、必ず手袋を着用すること。

※ 手袋は各自で準備する事(2双)

(2) 競技部材準備ならびに競技中は、材料や製品が落下しないように行うこと。

(3) 作業台周辺を清潔に保つこと。

5. 実施時間

全体説明:5分 課題1競技課題の説明:10分 課題2競技課題の説明:10分

競技課題 1 : 20分 競技課題 2 : 50分

※ 競技当日は練習は行わない。

※ 審査・採点中は選手の方は休憩となること。

6. 競技審査のポイント

競技は早さと作業の正確さ及び製品の品質により審査する。

競技課題 1 緩衝材の組立・結束

- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
 - ※○・口の向きが外側になっているか
 - ※端の製品が向かいあわせになっているか
 - ※○・口が5個ずつ混入せずに同一方向に揃えているか
- ② 正しく結束されているか。
 - ※8cm以内の結び目で、容易に解く事ができる結び方か
 - ※緩衝材の端から10cm以内の位置に結束されているか
 - ※紐を持ち上げたときに、紐と製品の間隔が5cm以内か
- ③ 外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹みなどが無いか。

競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

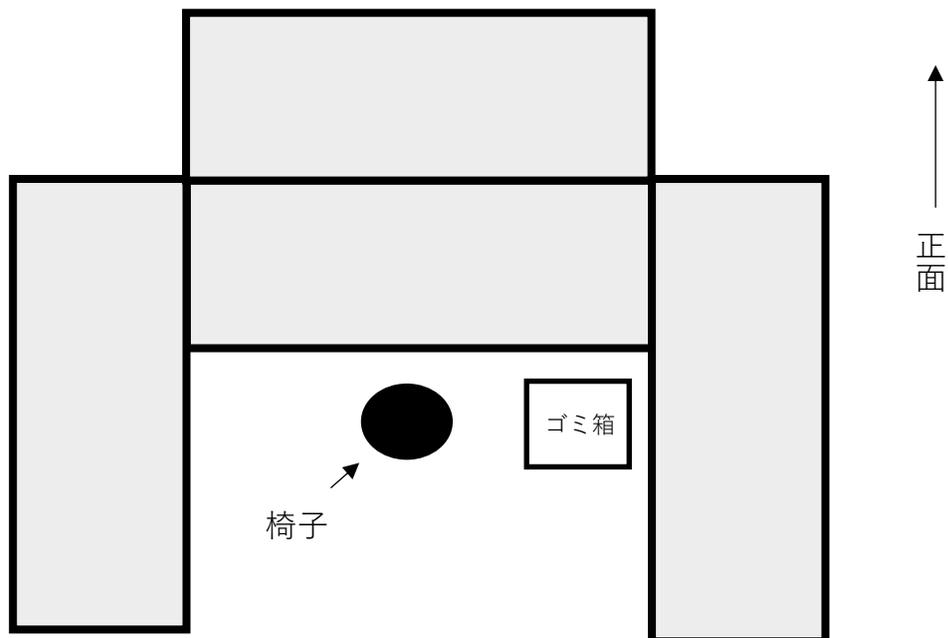
- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題通りか。
 - ※緩衝材の○・口の向きが外側に設置されているか
 - ※緩衝材A・Bそれぞれ2ヶずつ設置されているか
 - ※化粧箱の向きが緩衝材A側に縦置き、緩衝材B側に横置きされているか
 - ※化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか
 - ※中箱を開けた時に、小箱の底部が見えないか
 - ※小箱の中に商品が1個入っているか
- ③ 包装テープの止め方はきれいか。シワはないか。課題通りか。
- ④ 各々の製品の的外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹みなどが無いか。
- ⑤ 完成品は敷紙の上にはみださないように設置されているか。

7. 競技レイアウト

・机は計4台使用しコの字に設置

・材料は机の上に準備し、競技部材準備の時間に選手自らが各部材のレイアウトを決めて設置する。

その際、競技課題2で使用する外箱のみ机に立てかけても良いが他の材料は机の上に限定する。



8. 会場に準備されているもの(選手1人当たりの支給材料)

	材料名	数量	単位	備考
競技用材料	外箱	3	枚	
	小箱	12	枚	
	中箱	12	枚	
	化粧箱 身	12	枚	
	化粧箱 蓋	12	枚	
	緩衝材A	15	枚	
	緩衝材B	15	枚	
	商品	12	個	※梱包する商品
資材	結束紐	1	巻	
	くちばし型カッター	1	本	
	包装テープ・カッター	1	個	※テープカッター付き
	製品敷紙	1	枚	※課題2で完成品を置く際に使用します

9. 選手が持参するもの

品名	数量	単位	備考
手袋	2	双	※破れた場合を考慮し予備分1双含む
作業着	1	着	※作業着は任意持参
飲料	必要量		※適宜熱中症対策等を行うこと

10. 注意事項

① 服装について

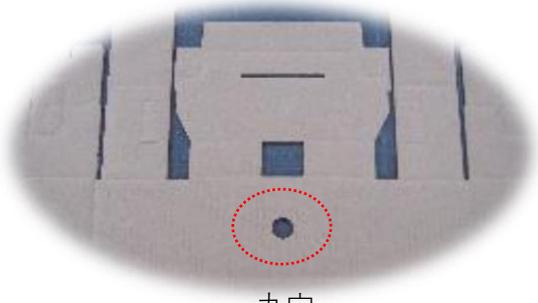
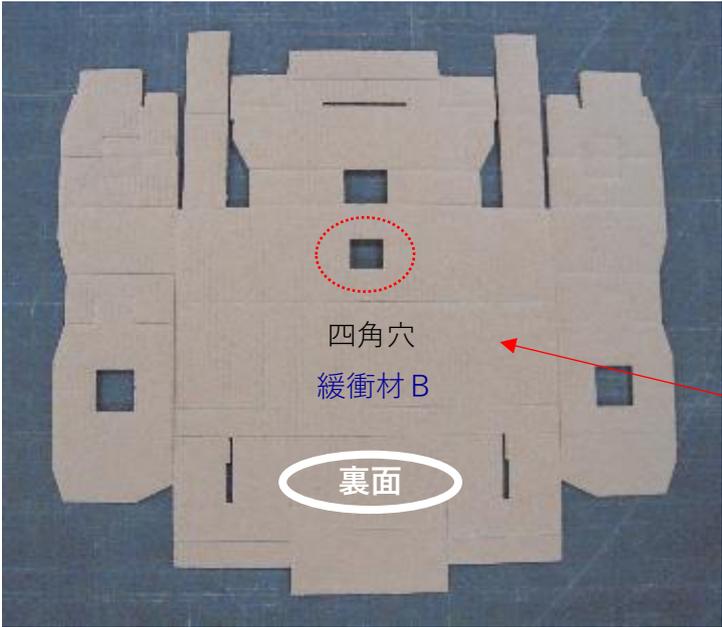
・作業着または運動着が望ましい。スカートやフリルが付いているもの、短パンやスリッパ・サンダル等作業に適さない服装は避けること。指輪やピアスなどの装飾品も避けること。

② その他

熱中症対策として飲料を必ず持参すること。

きょうぎかだい かんしょうぎい くみたて けっそく
【競技課題1】 緩衝材の組立・結束

てん かい ず
展 開 図



※緩衝材は2種類ある

※罫線(折れ線)が見える方が裏面

かん せい ず
完 成 図

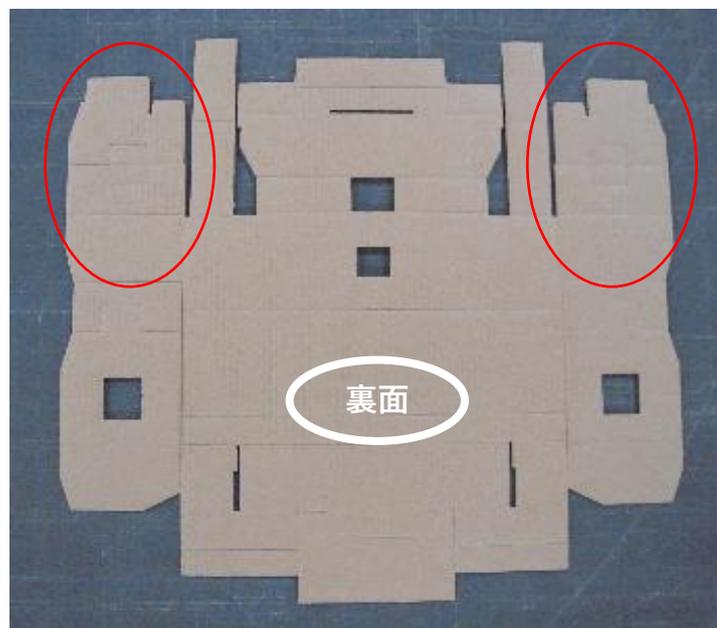


組立完成図

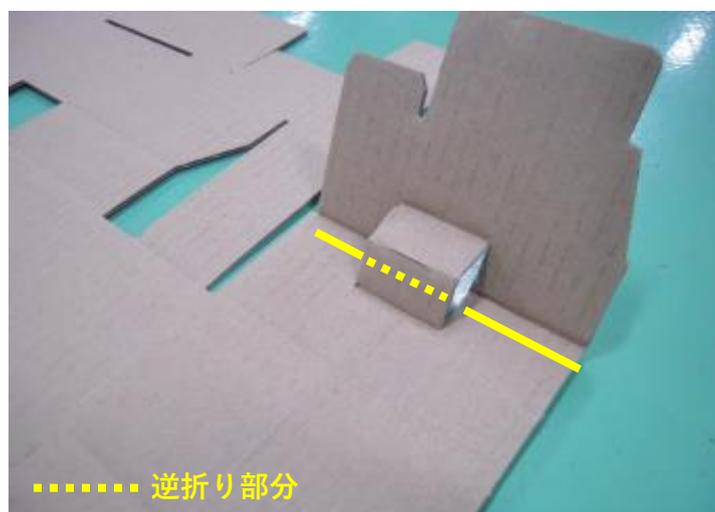


結束完成図

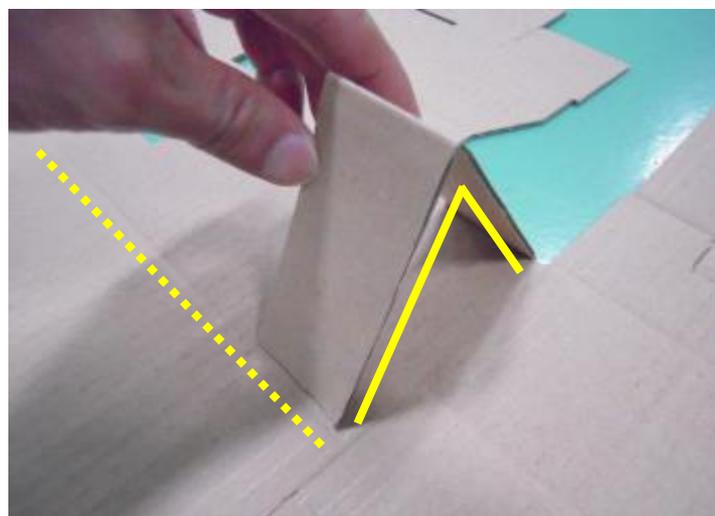
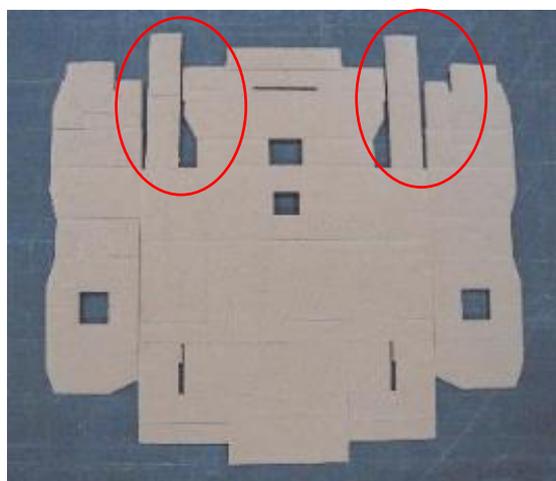
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な
 折り方は共通。(写真は緩衝材B)
 緩衝材の裏面を上にし折る。
 最初に○印の箇所から折る。



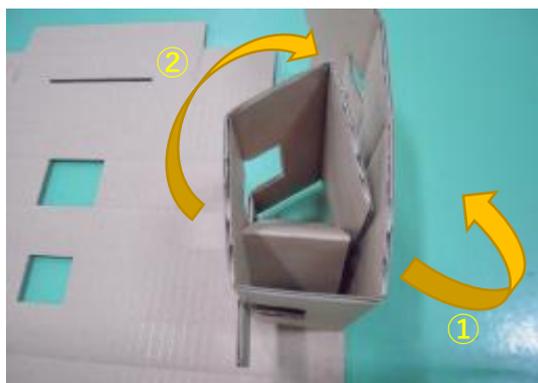
2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



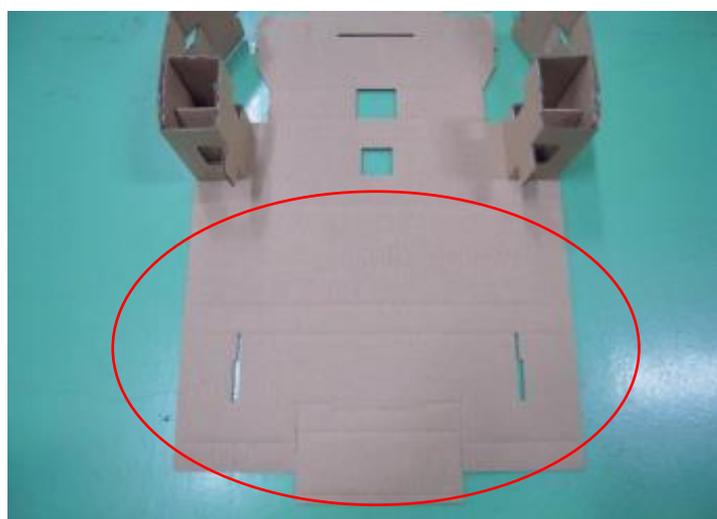
3. ○部を点線部分の罫線に合わせ折り込み
 三角をつくる。



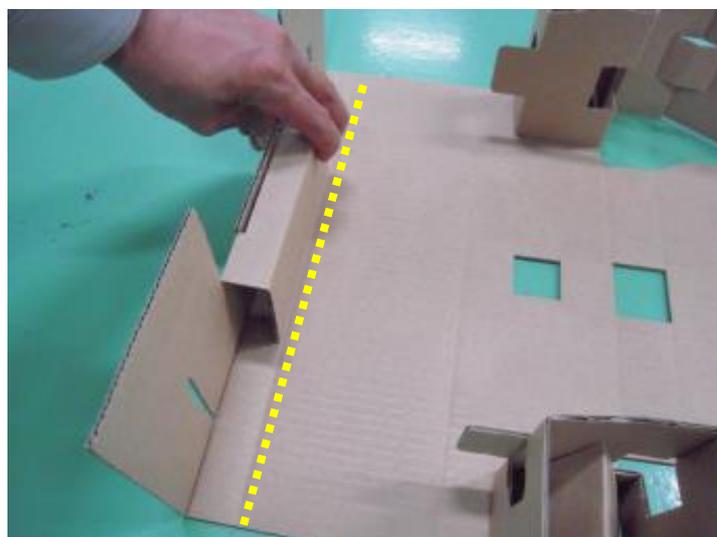
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



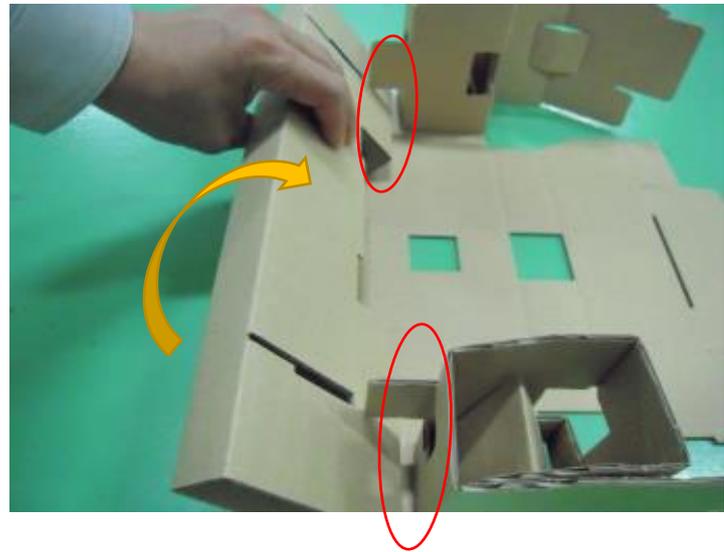
5. ○で囲んだ部分を折る。



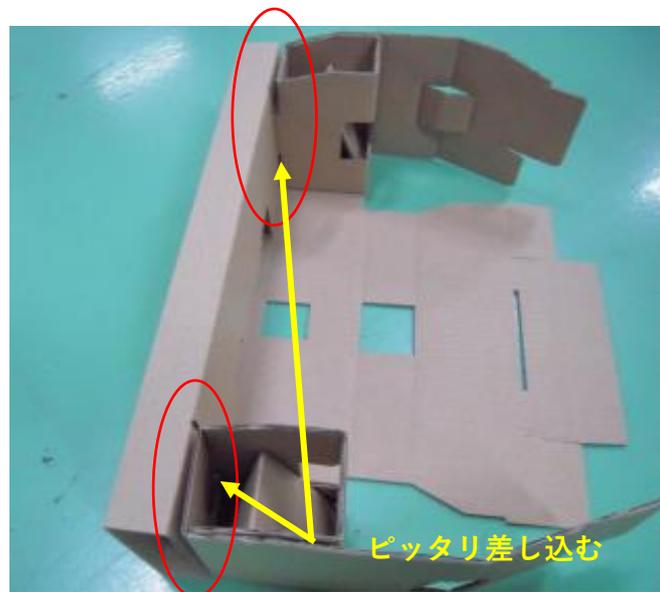
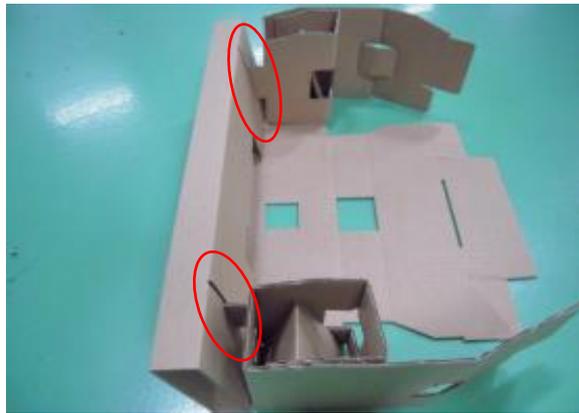
6. 中心部を点線部の罫線に合わせて折る。



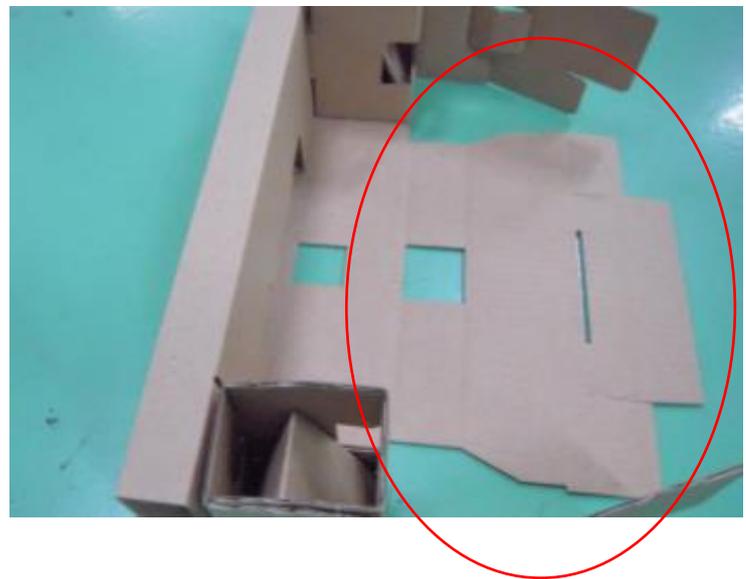
7. ^{りょうはせんたんぶ}両端先端部を折り込み、^{おこ}全体を^{ぜんたい}矢印方向に^{やじるしほうこう}立ち上げながら折り込む。



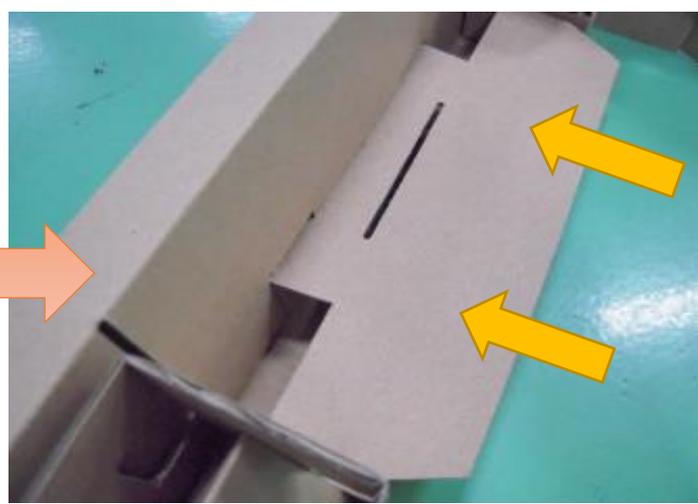
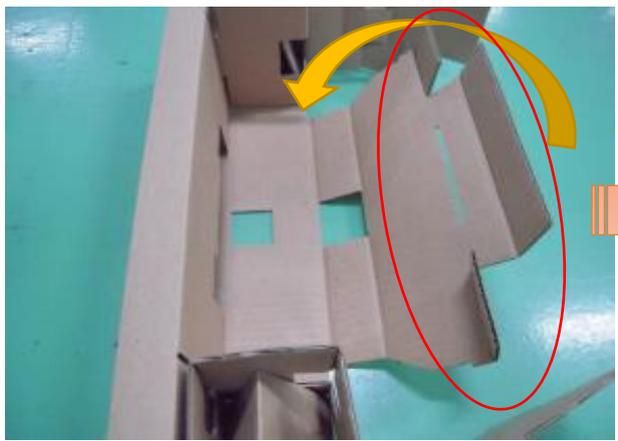
8. ^{あなぶ}穴部に^{そでぶぶん}袖部分の^{とつぶぶん}凸部分を^{さしこみ}差し込みながら^{ぜんたい}全体を^{たあ}立ち上げ^{おこ}折り込む。



9. ^{かこ}○で囲んだ部分^{ぶぶん}を^お折る。



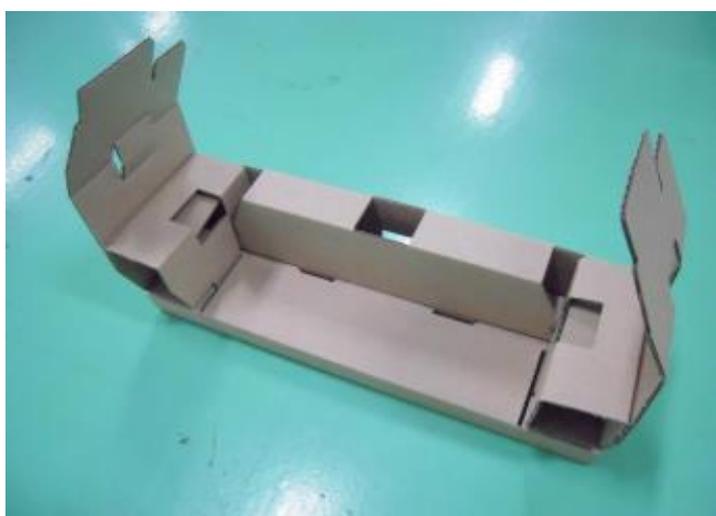
10. 先端部3か所を折りながら矢印方向に折り込む。



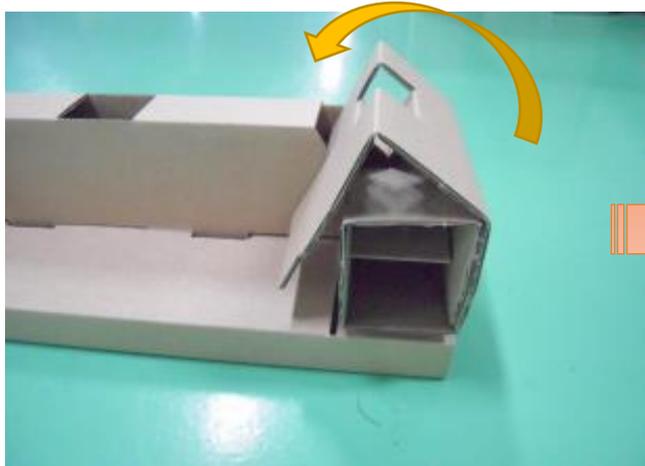
11. 全体を折り込み、本体にピッタリと押し込む。



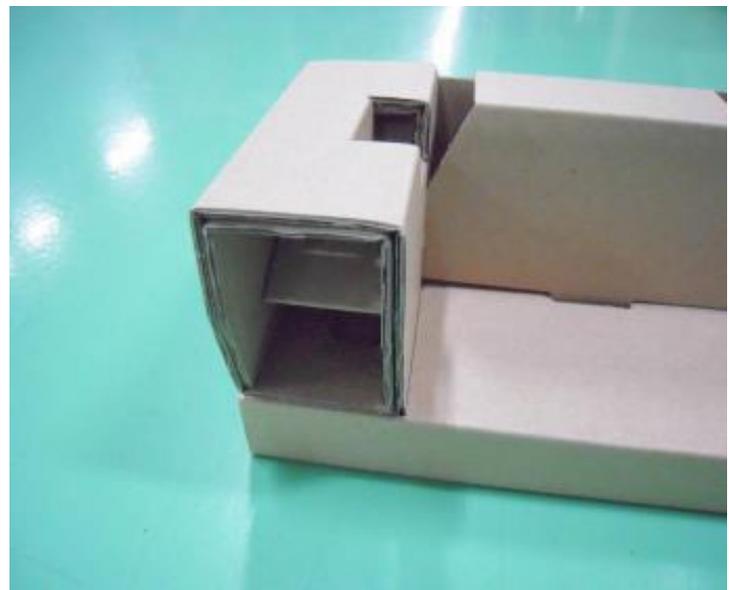
12. 袖部が上にくるように向きを変える。



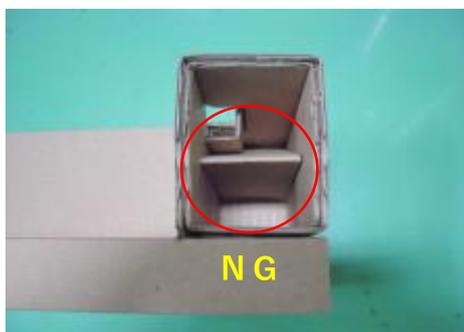
13. 袖部を罫線に合わせ折り込み、先端部を
本体に差し込む。



14. 反対側も同様に、本体に差し込む。



15. はじめに折った三角部分が正確に
三角になっているか確認し完成。
これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ
5個ずつ完成させる。



16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



17. 設置した結束紐の上に緩衝材5ヶを
結束紐が端側位置にくるように置く。
置く際は○口穴が下にくるように置く。

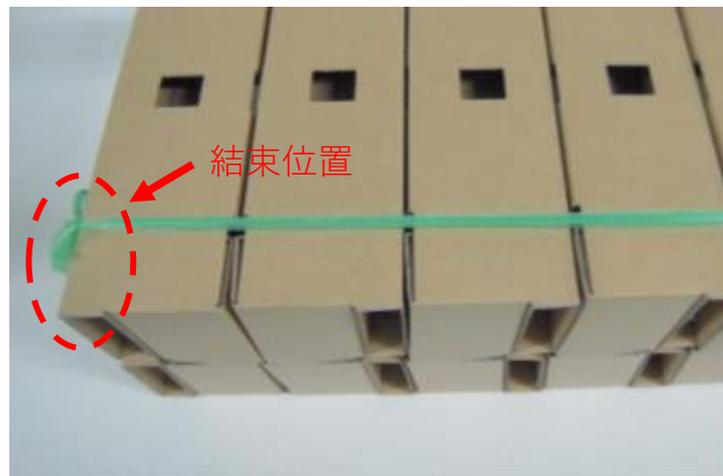


18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材
(○穴であれば□穴、□穴であれば○穴)を
5ヶ、穴が上にくるように置く。



19. 緩衝材の端から10cm以内の角で
結束する。結び方は自由。
ただし、8cm以内の結び目で容易に
解く事が可能な結び方にする。
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の
間隔が5cm以内になるようにする。

※課題2では、自ら作成した製品の
紐を解いて使用する。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の
端にくるように設置する。



21. 緩衝材の角で結束し完成。



※例として横に置いた状態での結束方法を紹介しているが、
縦に置いた状態での結束でもOK。

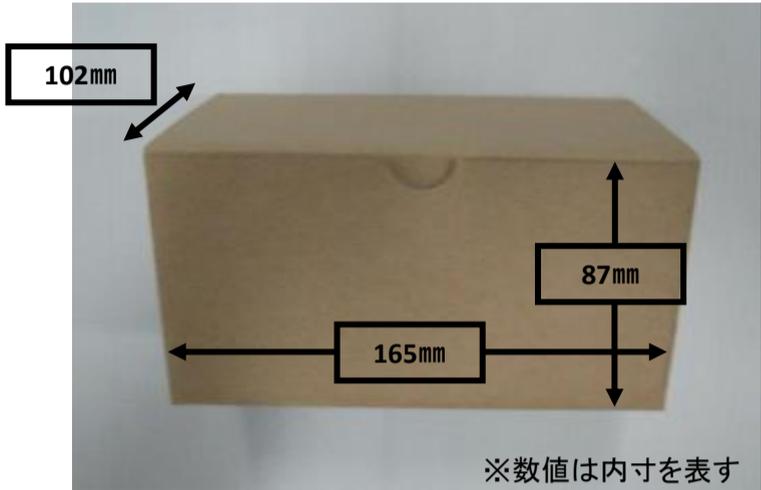
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包(1)

小箱展開図



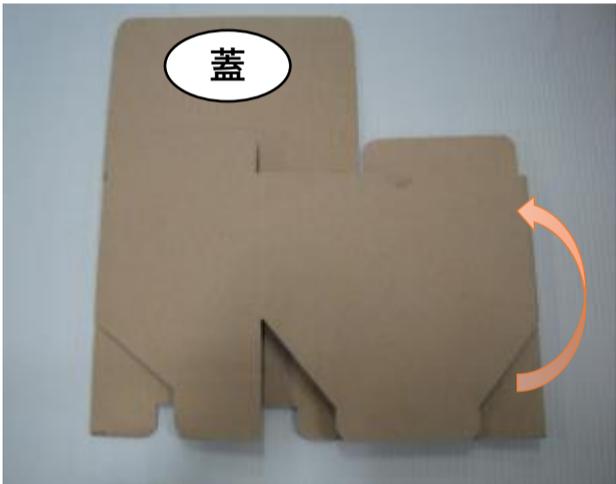
※罫線(折れ線)が見える方が裏面

小箱完成図



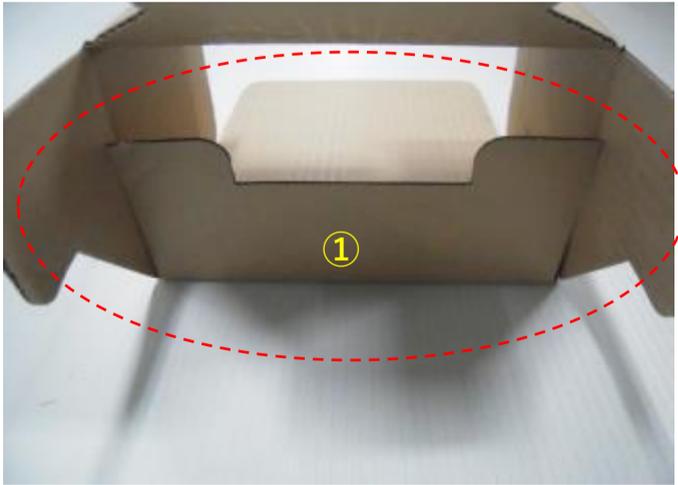
※数値は内寸を表す

1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。

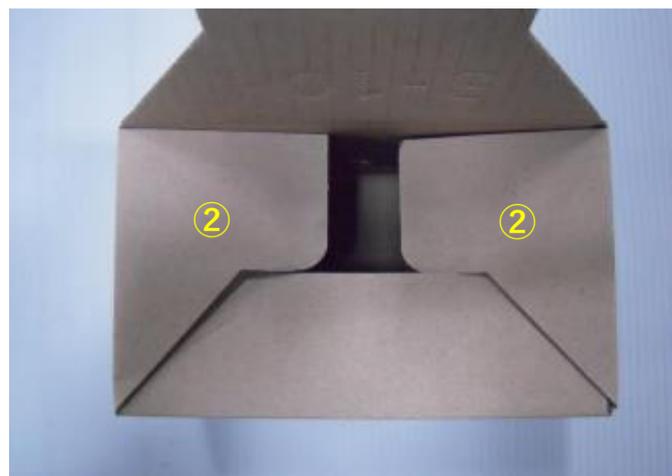


本体を立ち上げた状態

2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。



3. ②のフラップ2か所を内側に折る。



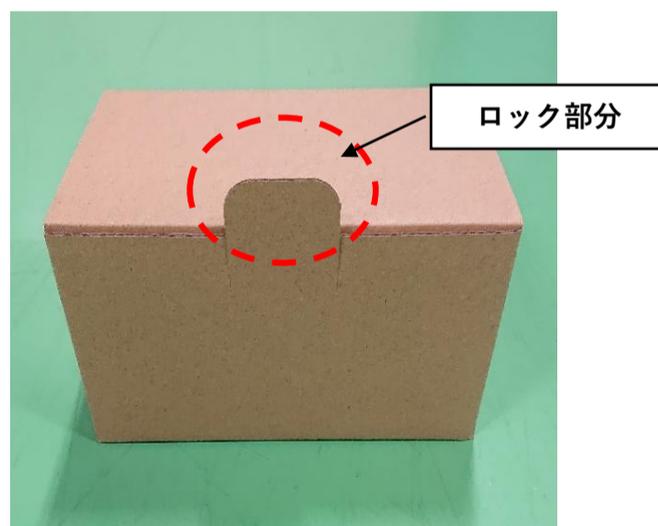
4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。



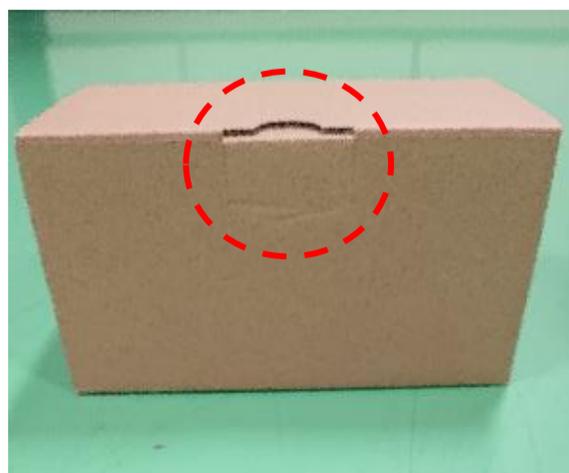
5. 底部を下にし、商品を箱の中に入れる。
商品を入れた後、内フラップ2か所を内側に折り蓋をする。



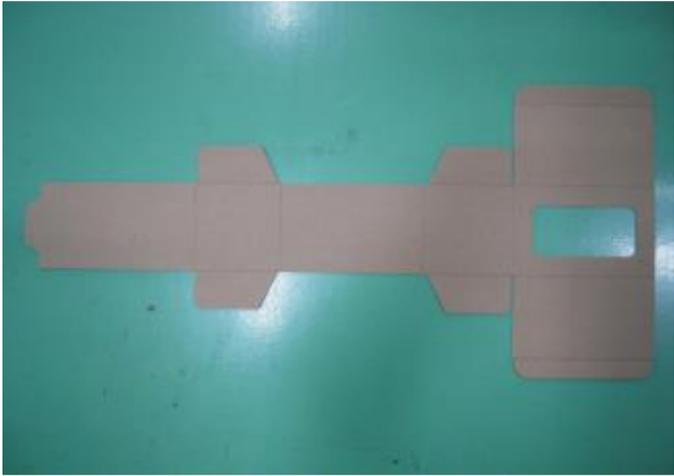
※商品の向きは審査対象外



6. 最後にロック部分を挿入し完成。



なか はこ てん かい ず
中 箱 展 開 図

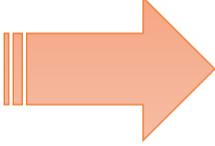
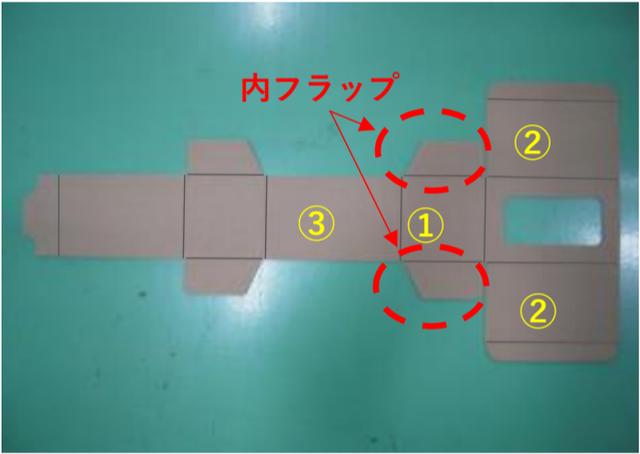


※罫線(折れ線)が見える方が裏面
※競技材料はカットのみの材料であるため層取り作業が必要となる。

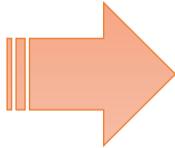
なか はこ かん せい ず
中 箱 完 成 図



6. ①の^{めん}面を立ち上げ、^{うち}内フラップ部分^{ぶぶん}を^{うちがわ}内側に^お折り
その後、②の^{めん}面を立ち上げ先端部分^{せんたんぶぶん}を^{うちがわ}内側に^お折る。



7. ③の^{ぶぶん}部分を罫線(折れ線)に沿って^お折り、
③の^{ぶぶん}部分を^{した}下に向き^むを変える。



8. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。
 その際、中箱の穴から小箱の底が見えないように
 小箱の向きに注意する。



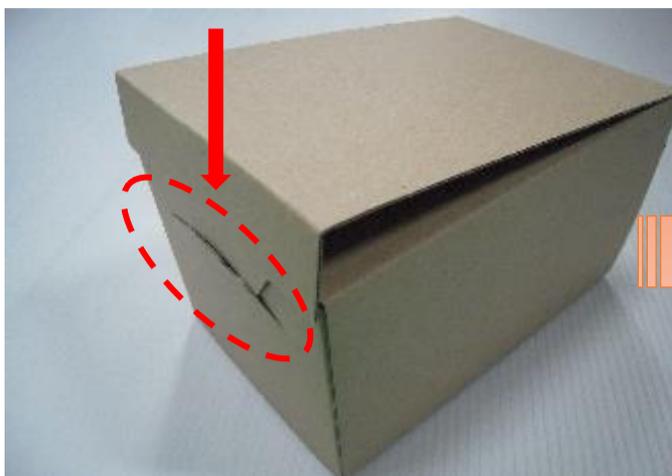
9. フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中におこ
 折り込む。



10. 中箱の天面を本体に向かって折る。



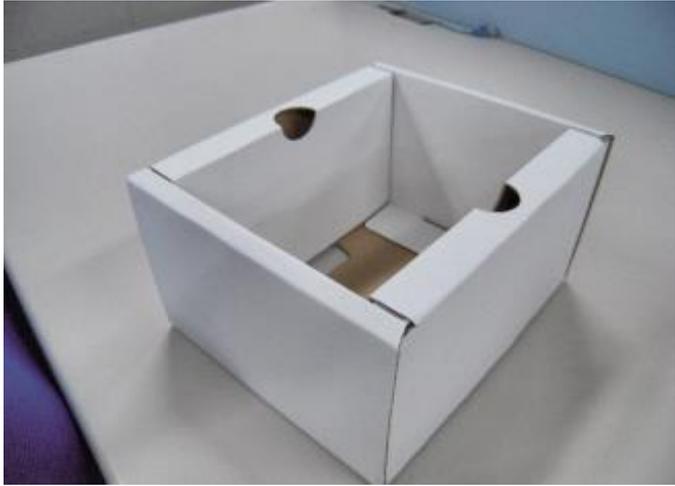
さいご てんめんせんたん さしこみぶ ほんたい
11. 最後に天面先端の差込部を本体の
きれ込み部に挿入し完成。



きょうぎかだい こはこ なかはこ けしょうはこ
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
 そとはこ くみたて こんぼう
外箱の組立・セットアップ梱包(2)

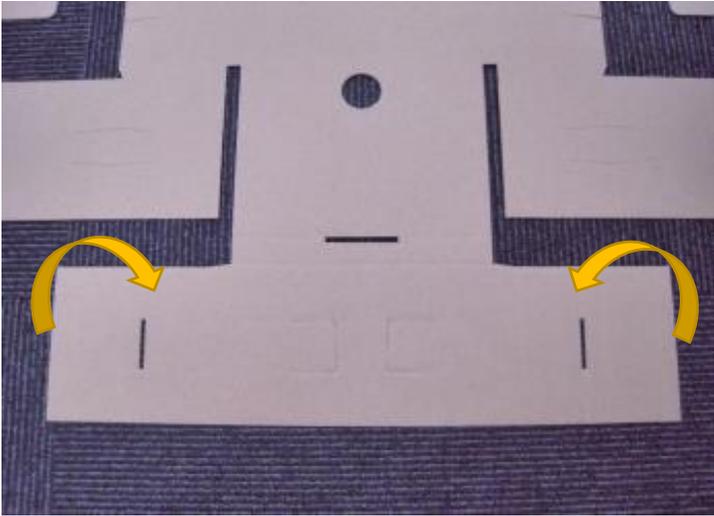
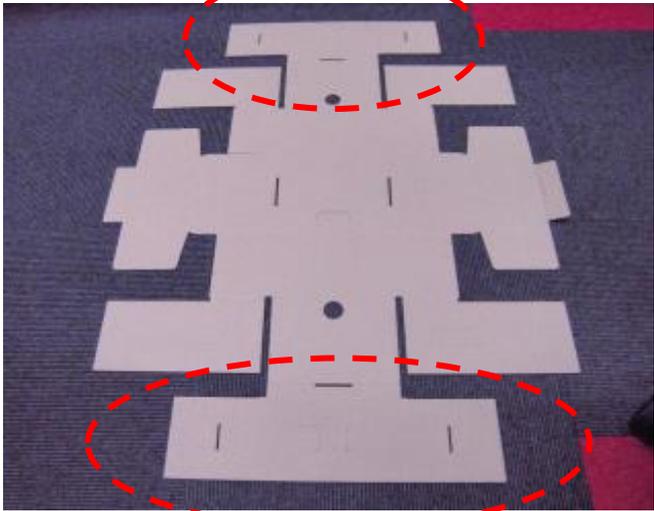
け しょうばこ み てん かい ず
化粧箱身展開図

け しょうばこ み かん せい ず
化粧箱身完成図

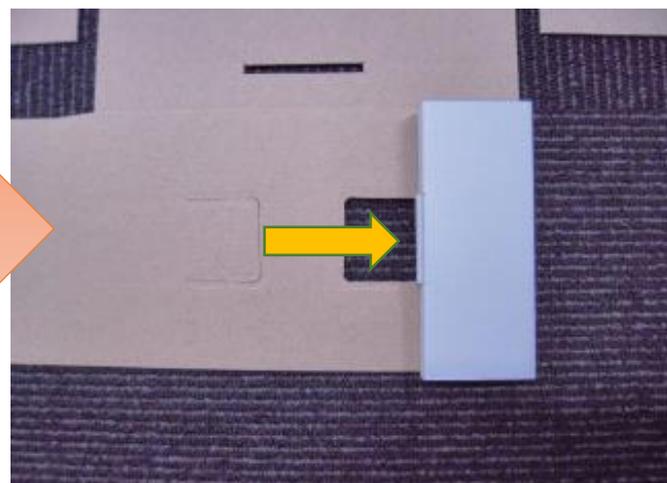
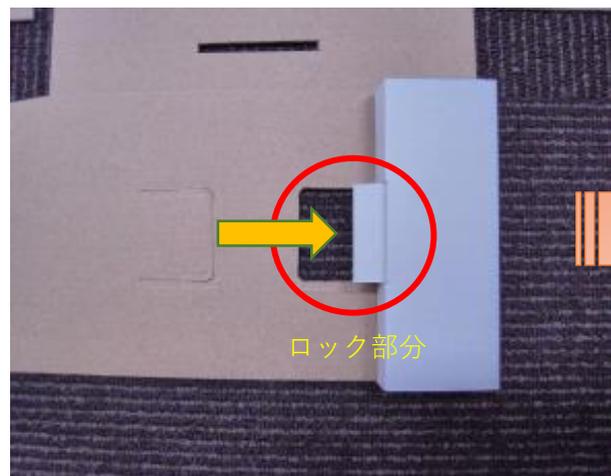


※罫線(折れ線)が見える方が裏面
 ※競技材料はカットのみの材料であるため層取り作業が必要となる。

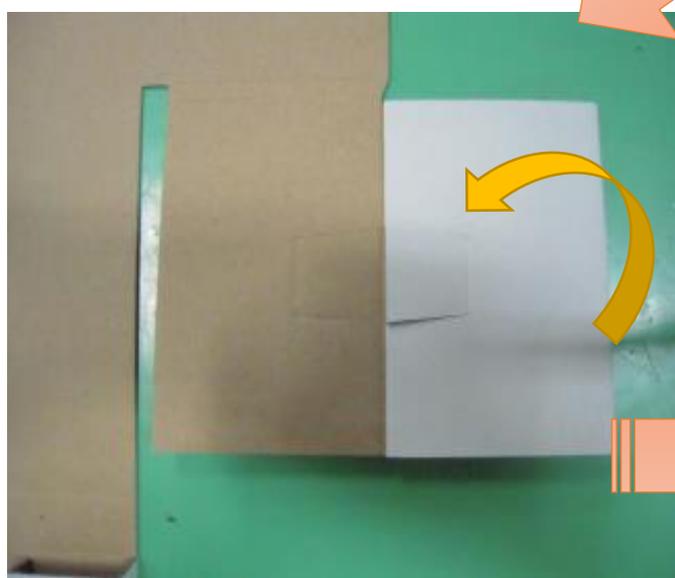
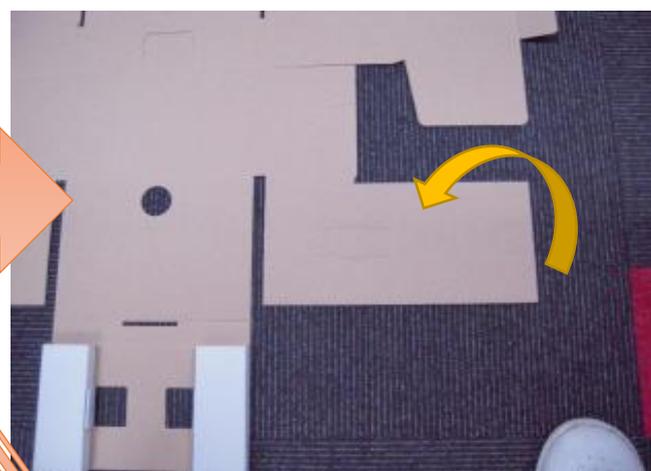
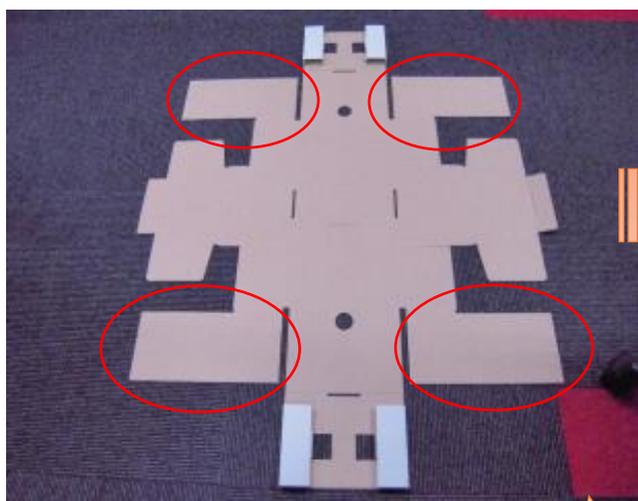
1. はじめに丸印の部分から折る。
 はし ぶぶん うちがわ ま けいせん あ
 端の部分を内側に巻くように罫線に合わせ
 お
 折る。



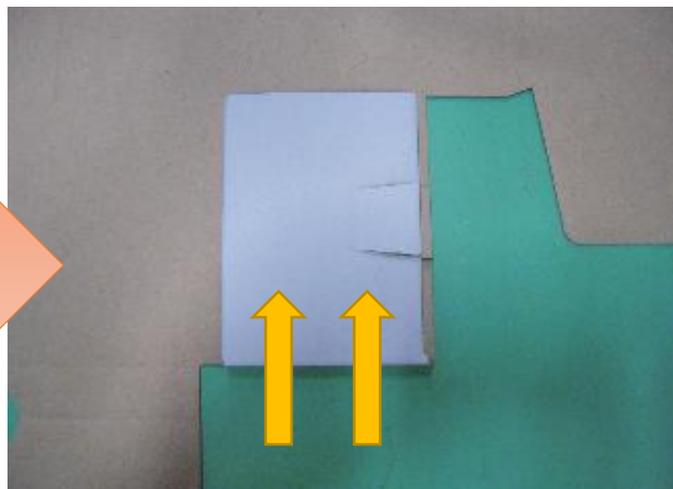
2. 折った部分の穴に、ロック部を下から
立ち上げ差し込む。
これを計4か所、同様に折る。



3. 丸印の部分から端から罫線に合わせ内側に
折る。

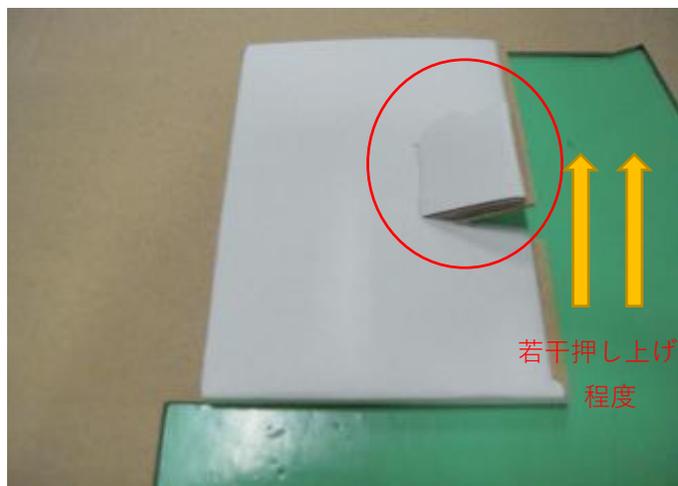


4. 本体中心に向かって罫線に合わせて折る。

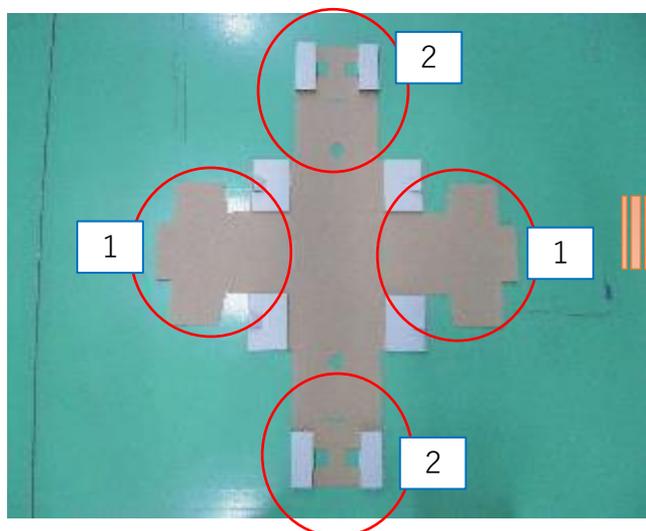


5. ロック部分を下から押し上げロックする。

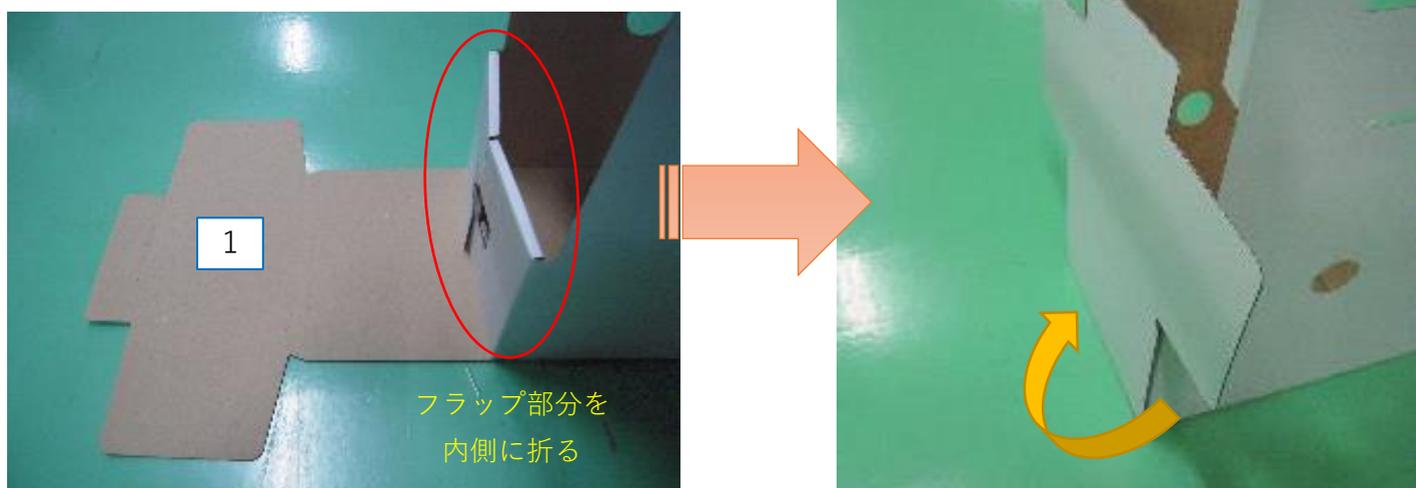
これを各部、計4か所同様に折る。



6. 2の部分を持ち上げる。



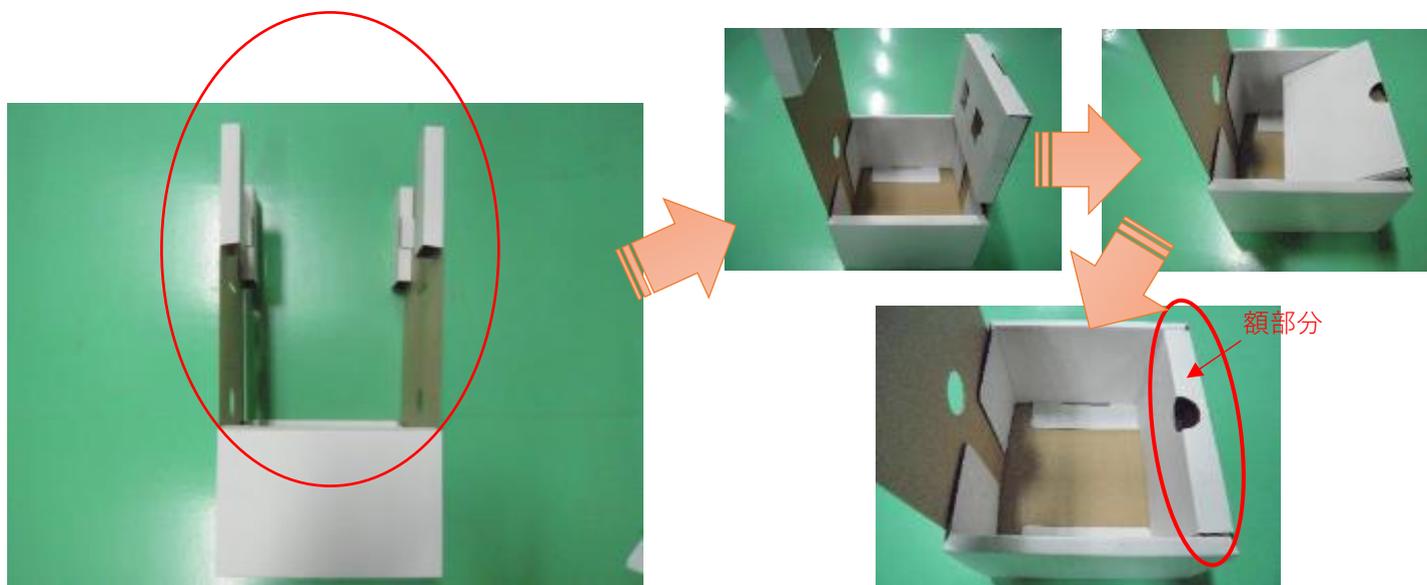
7. フラップ部分を内側に折り、1の部分を
たあ
立ち上げる。



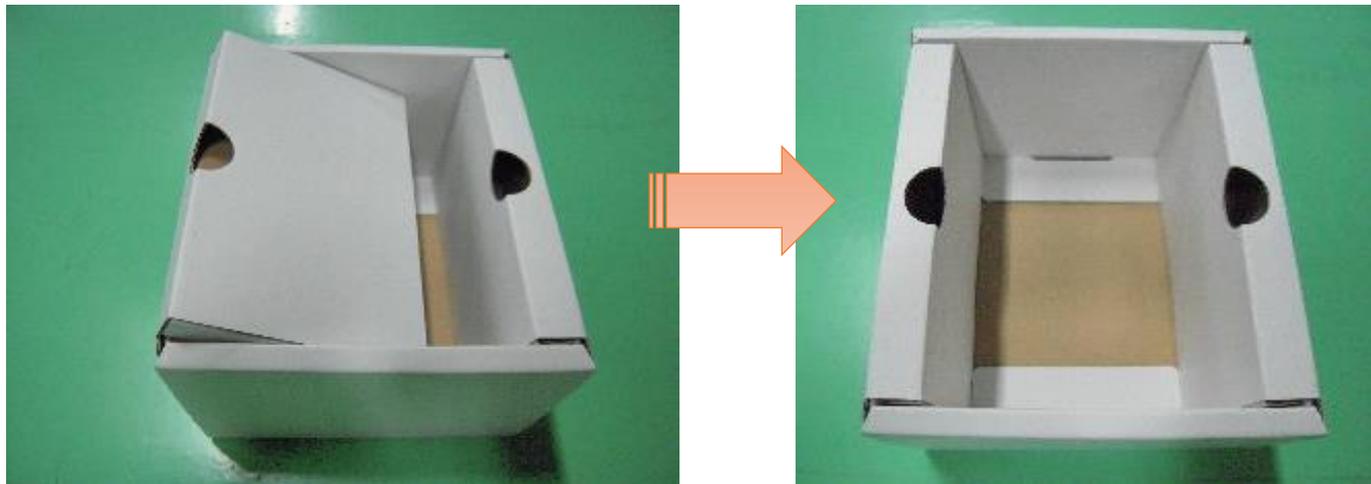
8. 1の部分の先端を外側に3か所折り、
ほんたいのうちがわ おこ
本体側面に折り込む。反対側も同様に折る。



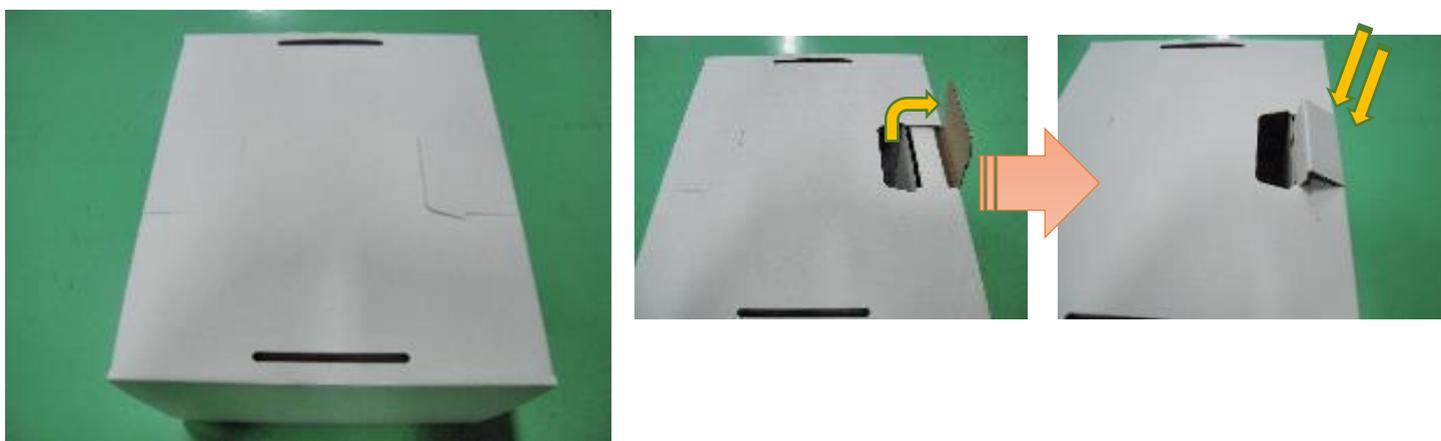
9. 2の端の部分から罫線に合わせて折り、
がくぶぶんたい
額の部分が平らになるまで中に折り込む。



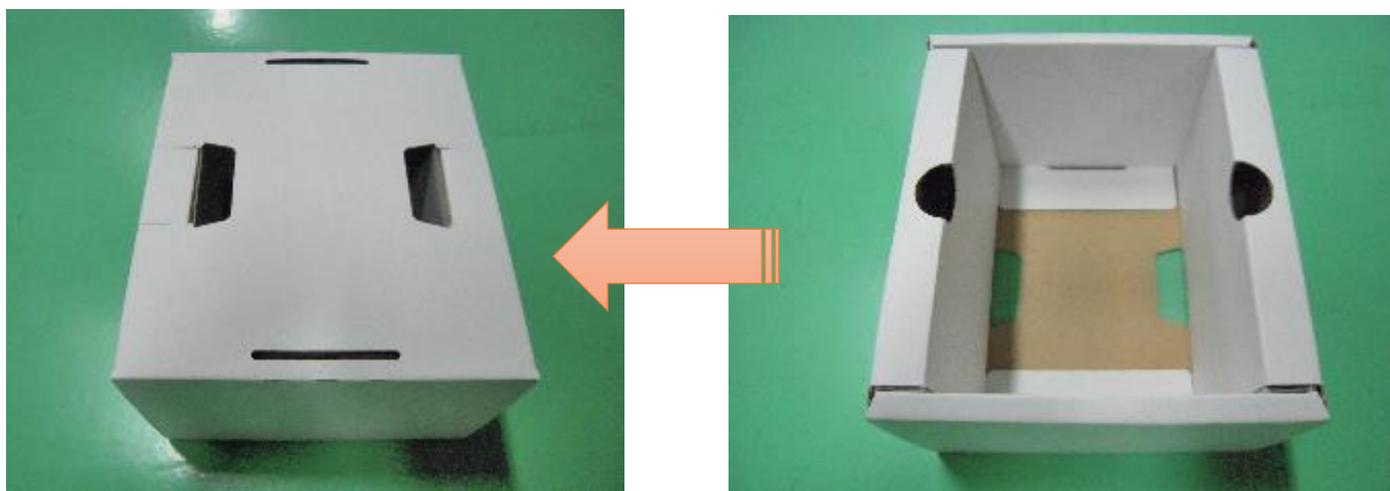
10. 反対側も同様に折る。
ほんたいがわ どうよう お



11. 裏(下)側を上にし、ロック部分を裏側から
押し出し、2の穴に挿入する。
うら した がわ うえ ふぶん うらがわ
お だ あな そうにゆう
反対側も同様に穴に挿入する。
ほんたいがわ どうよう あな そうにゆう

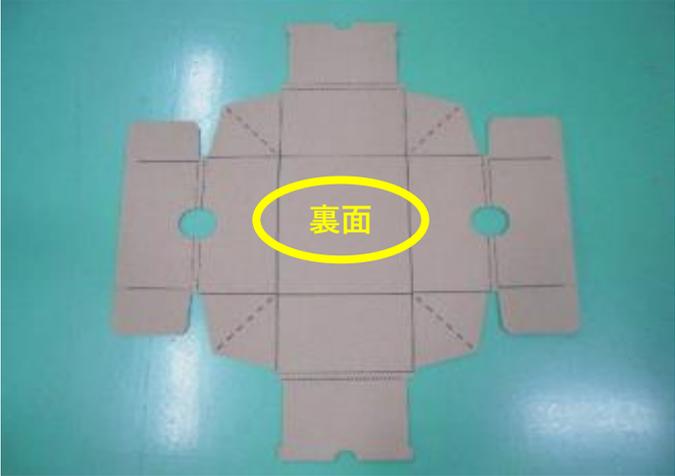


12. 2か所のロックが出来たら、底部を下に
向きを変え完成。
しょ でき そこぶ した
む か かんせい



きょうぎかだい こはこ なかはこ けしょうはこ
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
 そとはこ くみたて こんぼう
外箱の組立・セットアップ梱包(3)

け しょうばこ ふた てん かい ず
化粧箱蓋展開図

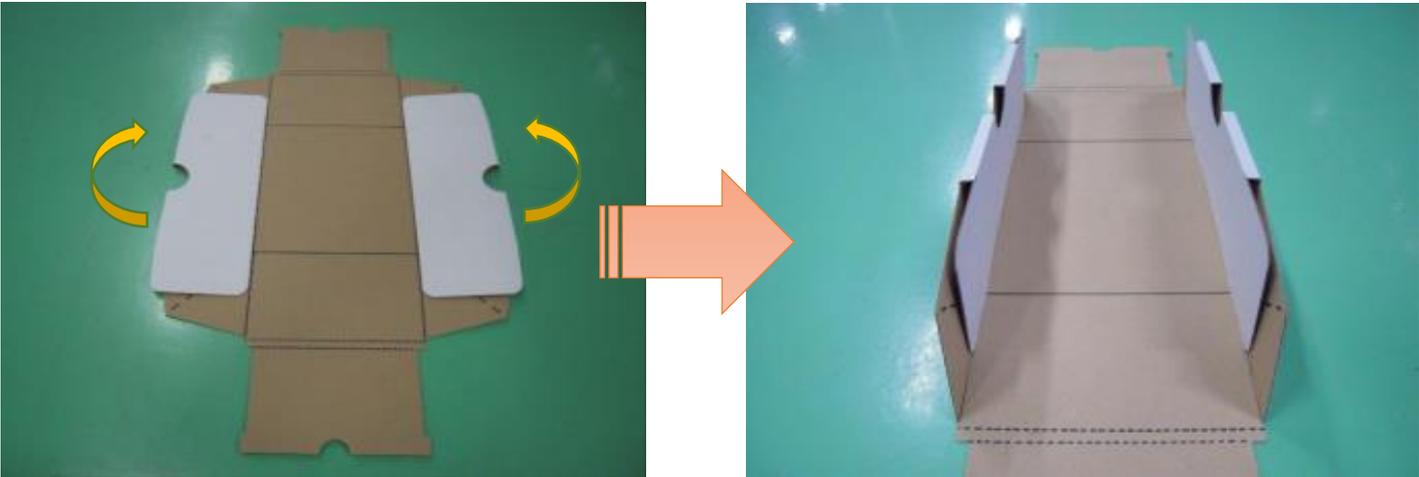


け しょうばこ ふた かん せい ず
化粧箱蓋完成図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面
 ※競技材料はカットのみの材料であるため層取り作業が必要となる。

がくぶぶん うちがわ お がくぶぶん ぜんたい
 1. 額部分を内側に折り、額部分全体を
 た あ
 立ち上げる。



2. 内フラップを内側に折る。

その後、外側フラップのミシン目を
内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を
中に押し込む。

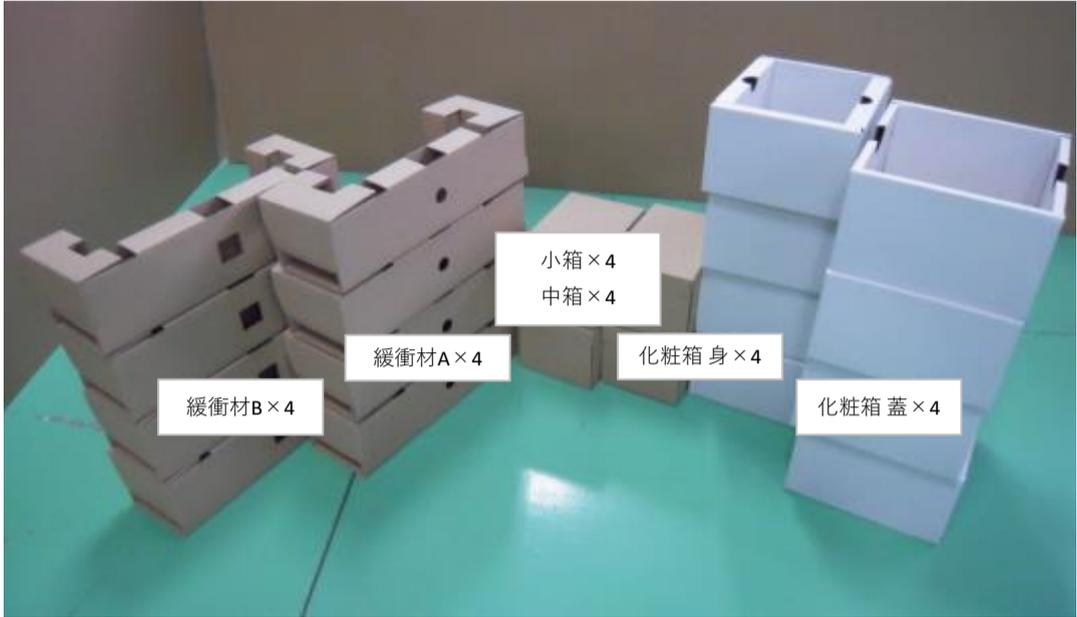


はんたいがわ どうよう お かんせい
4. 反対側も同様に折り完成。



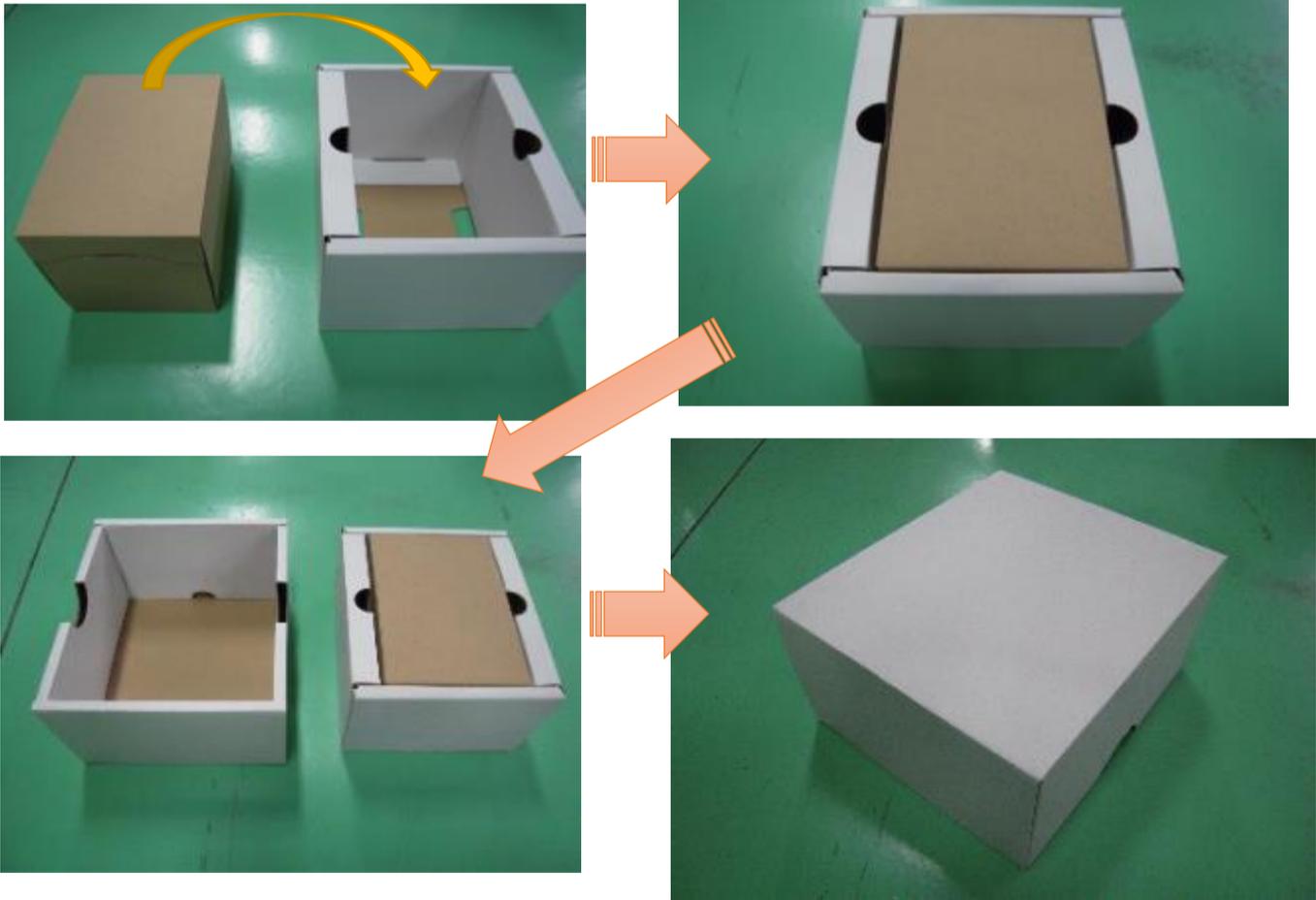
【^{きょうぎ}課題²】 ^{こほこ}小箱・^{なかほこ}中箱・^{けしょうほこ}化粧箱・
^{そとはこ}外箱の^{くみたて}組立・^{こんぼう}セットアップ梱包(4)

^{こんぼう}梱包^{ぶひん}部品^{いちらん}一覧



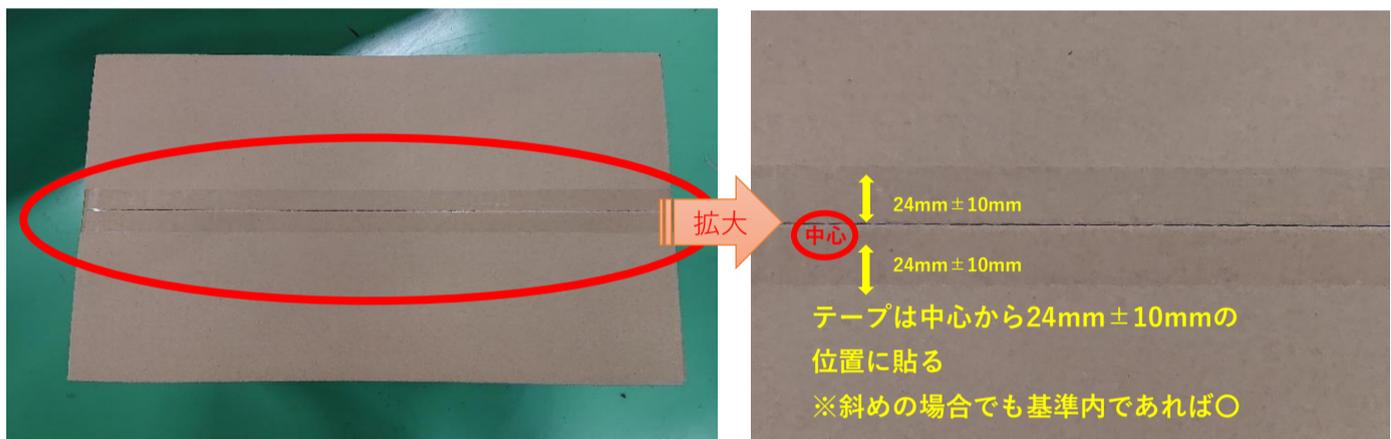
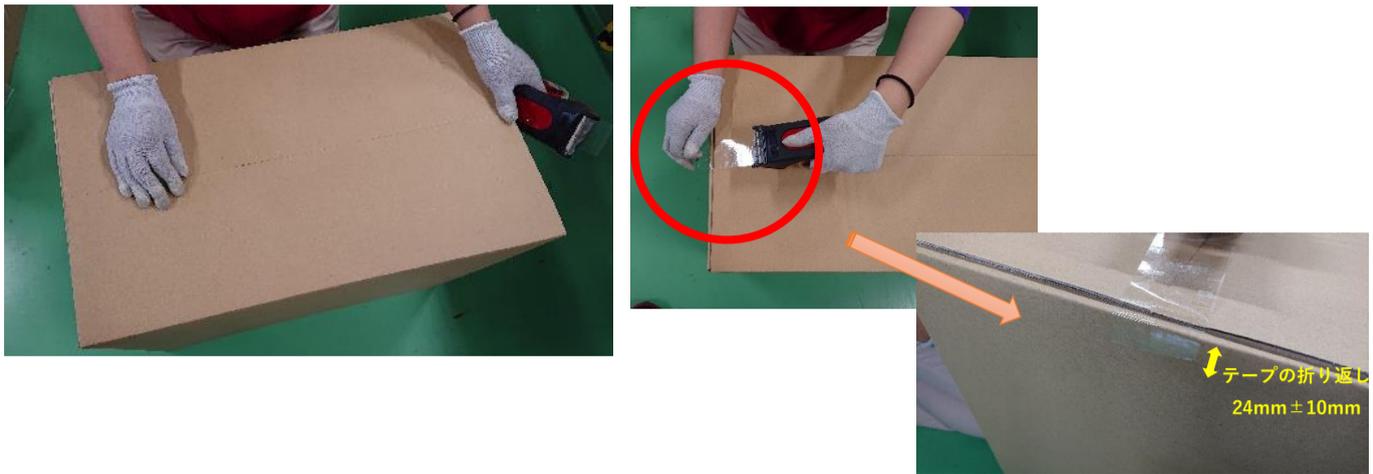
※上記部品を外箱にセットアップし梱包する。
 ※緩衝材は課題1で自ら作成した製品の紐を解いて使用する。

1. ^{けしょうほこ}化粧箱^み身に^{こほこ}小箱^{はい}が入った^{なかほこ}中箱^いを入れ、^{ふた}蓋^{さくせい}をする。これを4ケース作成する。



そとはこ く た ていぶ ほうそう は ふう
2. 外箱を組み立て底部を包装テープで貼り封をする。

① そとはこ そこぶ く た ちゅうおぶ ほうそう は ふう
外箱の底部を組み立て、中央部を包装テープで貼り封をする

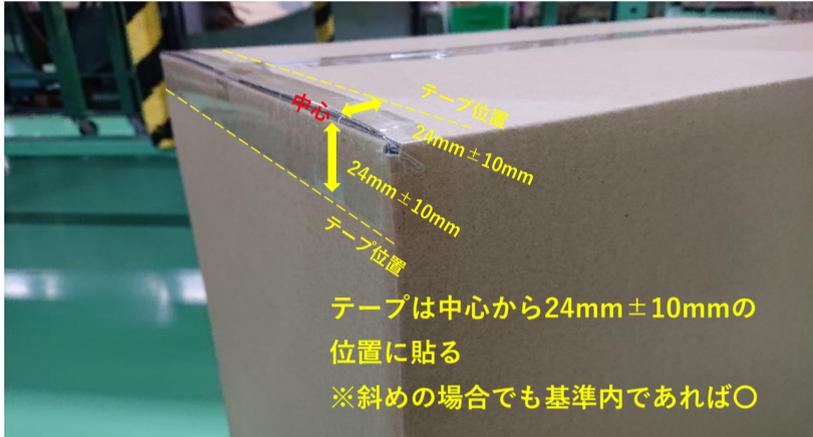
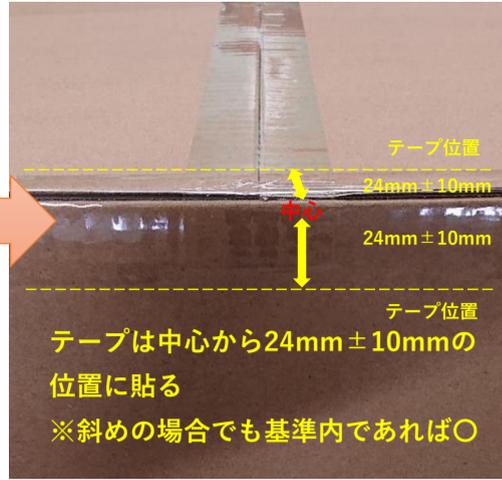


② そとはこ そくめんがわ ほうそう は
外箱の側面側を包装テープで貼る

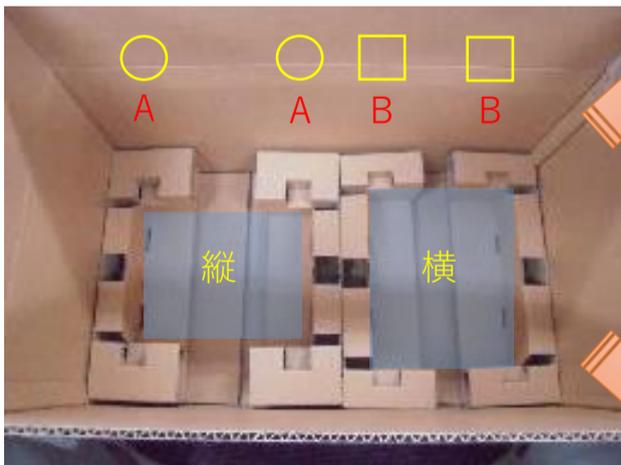




拡大



3. 底部を封をした外箱の中に緩衝材を○または口が外側になるように各2ヶずつ設置し、化粧箱を入れる。



3. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うように
それぞれ設置する。



4. 外箱の上部を折り、敷き紙の上に置く。

※上部はテープを貼らないこと

※写真の完成品は4個ですが、
実際は全て完成させると3個となる。



※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙
からはみ出さないように置くこと
※敷き紙には製品以外の物を置くことは出来ない
※敷き紙を踏んではならない